

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア
								必修・選択必修	選択 (D・E・G群)
使用教材	教科書	『国語表現 改訂版』 (大修館書店)							
	副教材	『国語表現 改訂版 基礎練習ノート』 (大修館書店)							

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習方法

教科書準拠の『基礎練習ノート』に即して学び、課題に取り組みます。国語表現の様々な分野について学び、その都度課題を完成させる、もしくは発表してもらい、意欲的に取り組んでください。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
④知識・理解	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
学習状況観察	◎	○	○	○	自己評価・相互評価
課題提出物	○		◎		
定期テスト			○	◎	
基礎練習ノート	◎				
意見発表	○	◎	○		

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

・様々な文章を読んでください。また、日頃の会話の中では、自分の意見を相手に正確に伝えることを意識してください。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	①書いて伝える ②自己PRと面接	・自分の考えを相手に正しく伝わる為の文章の書き方、話し方を学ぶ。	教科書準拠の『基礎練習ノート』に即して学び、演習を行う。 【学習状況観察】 【練習ノート】 【課題提出物】 【定期テスト】
2 学期 30単位時間	③小論文・レポート入門 ④メディアを駆使する	・小論文やレポートの書き方を学ぶ。 ・自分の意見と対立する意見を考慮しながら書くことを身に付ける。 ・通信文の書き方を身に付ける。また、電話での話し方を学ぶ。	
3 学期 18単位時間	⑤会話・議論・発表	・場面にふさわしい言葉遣いを学ぶ。	